

令和6年度 矢渕中学校「学校自己評価」

◎A：満足できる ◎B：おおむね満足できる ◎C：やや課題が残る ◎D：大きく課題が残る 検証項目（今年度の具体的目標項目）	教職員評価		学校 評価	参考			成果・課題	来年度に向けて
	A・B	C・D		差	保護者評価			
					A・B	C・D		
A. 一人残らず学びの権利を実現する								
1. 教員は子どもたちにきめきめ細やかな指導を行い、基礎学力の定着、学びを深めるよう努めていますか。	88.2%	11.8%	B	-9.8%	78.4%	11.4%	<ul style="list-style-type: none"> 授業スタイルや個性は大切にしながら、学校としての授業の方向性を明確にして、学校全体で授業改善に取り組む。 生徒が意欲的に学ぶ課題設定や一人ひとりが静かに学べる環境を整える。 放課後学習や家庭学習を通して学習意欲の向上を図るとともに、基礎学力の定着のため、家庭学習等の課題や方法（やり方）を充実させる。 指導方法の改善と合わせ、研修等でもスキルを身につける必要がある。 不登校の生徒の学びの場の確保や個別指導を継続する。 教師間で生徒の情報を共有し、個に応じた指導を行うことができた。 	<ol style="list-style-type: none"> 校内研修（授業研含）の質の向上と授業改善 公開研修の充実（全クラスで実施〔内3回公開授業研〕） 研究協議会の充実と時間の確保（校時変更） 先進校研修会への計画的な参加（1人1回は参加） 授業の方向性を共有するための研修会の実施 学習支援 アフタースクール[学習会]（仮称）や基礎内容定着の取組の実施 eライブラリやまなVIVAセット等の活用 ICT機器の効果的な活用方法についての研究の継続
2. 教員は学習指導や生活指導を通して、子どもたちに寄り添い、子どもたちが自ら学ぼうとする環境をつくらうとしていますか。	82.4%	17.6%	B	-4.5%	77.8%	12.0%		
B. 生徒一人ひとりの良さを認め合える教育活動を進める								
4. 日頃の教育活動や道徳の教科などで子どもたちの人権感覚の育成に努めていますか。	88.2%	11.8%	C	-18.2%	70.1%	11.4%	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に活動に参画できない生徒の姿が見られるため、自ら考え、行動する力をつけられる場面や活動をより設定していく必要がある。 授業や部活動、生徒指導等で個々の人権感覚の育成に努め、あわせて外部講師による講演会等を開催し、全体での人権感覚の育成にも努めている。 人権教育の観点から、さらなる教科横断的な指導や学習内容の定着、個々の自尊感情の向上や良好な人間関係づくりにつながる実践と工夫が必要。 生徒が悩みを相談したり、発信する機会は確保されている。 「一人ひとりのよさを認め合える」という観点について、より効果的な手立てや実践について教職員間で協議し、さらなる工夫を見出ししていく。 教師から生徒のよさを伝える機会はあるが、生徒同士が認め合える機会が少なくなっているので、互いを知り、認め合える機会を計画的に設定する。 生徒一人ひとりが活躍できる場を設け、その活躍をクラス全体で共有し、互いを認め合える関係性を構築する。 認め合い、学び合える学習環境をつくるのが大切。 	<ol style="list-style-type: none"> 人権カリキュラムの柔軟な運用 生徒の実態等に沿った学習の時期変更（実態優先） 道徳等との関連性を意識した年間計画の組み立て 通信等を活用した実践（生徒の様子等）紹介 生徒理解 生徒理解を深めるための校内研修（講師招聘）の開催 障がい等の特性理解や対応事例等の資料の提供 相談活動や生活習慣チェックを継続し、悩みや不安の早期発見、早期対応につなげる QUや各種アンケートによる実態把握と情報共有（組織的な対応） 職員間および校内教育支援センター等との連携を深め、すべての生徒の居場所づくりに努める 生徒「理解支援シート」の活用を推進する 部活動等における「透明化」を意識した活動・運営
5. 教育相談や個別懇談、家庭訪問等の相談活動を充実させ生徒理解を深め、子どもたち一人ひとりと保護者に寄り添った指導を心がけていると思いますか。	100.0%	0.0%	B	-19.2%	80.8%	12.6%		
6. 学校（学級）活動や部活動を通して子どもたちの自主的な活動を促し、「課題を見つけ、考え、判断する力」がつくよう努めていますか。	82.4%	17.6%	B	-6.3%	76.0%	14.4%		
C. 家庭や地域と連携し「地域とともに育つ学校づくり」を進める								
7A.学校教育活動への理解を得るために各種通信の発行やホームページの有効利用等、情報発信を積極的に行っていますか。	100.0%	0.0%	B	-18.1%	81.9%	11.4%	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の様子や学校行事の取り組みなど、丁寧に発信されている。育友会や学校運営協議会等で保護者や地域の方の意見を聞いたり、学校の現状を伝えたり、連携協力がなされている。 コミュニティーホールへの参画を高められるよう声掛けや意図について説明等を行っていく必要がある。 地域と連携した取組の中で子どもたちが家庭や地域にとって重要な存在であると感じ、自己肯定感を高められるよう努めたい。 地域、保護者の方と積極的にコミュニケーションをとり繋がりを築けるようにしたい。 	<ol style="list-style-type: none"> 学びの主体者（保護者・地域）として 人権講演会等への保護者、地域の方への参加要請を継続し、学校に関わる全ての人が学びの主体者として参画できる機会を設ける 地域との連携 「地域交流活動（育友会行事）」など、既存の活動を地域連携の視点で捉え、企画運営する 学校行事等を通して、学校としての取り組みを紹介する 地域や関係機関と連携した取り組みの様子を情報発信する
7B.学校行事や総合学習などすべての教育活動において地域や教育関係機関と協働し「地域とともに育つ学校づくり」を推進していますか。	100.0%	0.0%	A	—	—	—		
D. 想いを共有しチームで協働する学校運営体制を構築する								
8. 学校職員はお互い協働して学校運営に取り組み、子どもの健やかな成長を抛り所にしながら努めて元気に教育活動を進めようとする雰囲気を感じられますか。	94.1%	5.9%	B	-16.3%	77.8%	10.2%	<ul style="list-style-type: none"> 総勤務時間縮減に向けては課題が残っている。 コンプライアンス等については課題意識を持って取り組んでいる。 各学年で子どもたちの様子を細やかに見て、学年間で情報を共有し、各教員がどの生徒にも対応できるよう努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 『矢渕中学校「働き方改革」』を意識した働き方を徹底する 職員会議や教務会、生指会において、情報を共有し、個別生徒への対応を全体で行えるようにするとともに、個別生徒の事案から未然防止の観点で具体の実践を検討する